



シングルサインオンと ID 管理を備えた国産 IDaaS

学認に対応し、Microsoft 365 や学習支援システムとの認証連携も容易に！

クラウド認証基盤「Extic」

クラウドの急速な普及に伴い、各サービスをセキュアに便利に使用するために必要とされる認証基盤が注目されています。国産 IDaaS である Extic は、シングルサインオンだけでなく認証に必要となる ID やパスワードといった ID 情報の統合管理も行える、クラウド認証基盤サービスです。



サービスのベネフィット

- AWSをはじめ、SAMLに対応した複数のクラウドにSSOできます。
- Microsoft365や、AWSも実装しているSCIMに対応した複数のクラウドのID情報を一元管理できます。
- オンプレミスやAWS上に構築されたADやLDAP等にもIDを連携できます。
- FIDO2に対応しており、スマートフォンやPCの生体認証と連携したパスワードレス認証が可能です。
- 学術認証フェデレーション「学認」に必要なShibboleth IdPの機能を備えており、オンプレミスのShibbolethサーバーが不要になります。

サービスの利用事例

【セプテーニホールディングス様】

<https://www.exgen.co.jp/extic/case-study-03.html>

【東北学院大学様】

<https://www.exgen.co.jp/extic/case-study-05.html>

AWS 選定のポイント

- 貴重なIDをお預かりする環境に、侵入に対して堅牢なAWSを採用。インフラ構成と分散構成で可用性があります。
- 3月～4月など、IDメンテナンス業務の繁忙期に集中する負荷に、AWSのスケール調整で対応します。
- お客様単位でサーバーを導入し認証基盤を構築するよりも、HWの準備工数・運用コストの面で圧倒的にリーズナブルです。

サービスのターゲットと効果

【システムをご利用される方】

- クラウドごとにログインする必要がなく、パスワード忘れから開放されます。
- パスワードを用いず、生体認証や Yubi キーなどで、安全で簡単な認証が行えます。

【システムを管理される方】

- クラウドごとに ID をメンテナンスする必要がなく、これにかかる工数を低減でき、ミスを防ぐことができます。
- クラウドごとに異なるパスワードポリシーに悩むことはありません。

Extic をご利用いただくことにより、次のような時間やコストが削減 / 低減できます。

- ログインに要する手間と時間＝利用しているクラウド数 × 20 秒 がなくなりスピーディーに作業が開始できます。
- ID メンテナンスに要する時間＝利用しているクラウド数 × ユーザー数 × 60 秒 が削減され管理業務の生産性が高まります。
- ID メンテナンスミスによる情報漏えい等セキュリティリスクによる損害＝プライスレス。